

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（青森県 平成29年度）

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー②	成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						メニュー③	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成25年)	1年後 (平成27年)	2年後 (平成28年)	3年後 (平成29年)	目標値 (平成29年)	達成率				計画時 (平成25年)	1年後 (平成27年)	2年後 (平成28年)	3年後 (平成29年)	目標値 (平成29年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
七戸町	十和田おいらせ農協	野菜(トマト)	当該品目の全出荷量に占めるブランド野菜の割合を5ポイント以上増加	ブランド野菜/全出荷量 285t/901t 31.6%	ブランド野菜/全出荷量 363t/784t 46.3%	ブランド野菜/全出荷量 340t/810t 42.0%	ブランド野菜/全出荷量 256t/667t 38.4%	ブランド野菜/全出荷量 655t/1,040t 63.0%	21.7%	当該品目の単位面積当たりの販売額を3%以上増加	出荷貯蔵施設トマト選別設備(カラー内部品質センサー付き選別機、情報処理装置 製函・梱包機一式)	2,156千円/10a	1,832千円/10a	1,982千円/10a	1,853千円/10a	2,560千円/10a	-75%	125,506,800	58,105,000	0	0	67,401,800	平成27年6月19日	低温・長雨・日照不足による生育不良により出荷量が目標に達しなかった。また、ブランド力向上に向けた取組の浸透不足により、ブランド野菜の出荷量についても目標を達成できなかった。 10a当たりの販売額については、選別施設の導入により選果等級のばらつきがなくなり、単価は増加傾向にあるが、主に気象要因により単収が落ち込み目標を達成できなかった。今後は、生産者の栽培技術の高位平準化を図るため、高収量の生産者の技術を習得する機会や栽培講習会等による技術指導、各ほ場の診断・指導などにより、単収の底上げを図るとともに、土壌診断分析の必要性・重要性の周知等によりブランド野菜の増加を図る。	ブランド野菜の割合増加は、その重要性を生産者に周知し、理解促進していく必要がある。 単位面積当たりの販売額増加は、A品率・平均単価とも向上していることから、引き続き良品生産に努めるほか、下位等級品などの販路開拓に努める必要がある。 今後は、生産者の栽培技術のさらなる向上、高い技術での標準化を図るため、栽培技術の指導等を必要に応じ実施する。さらに、土壌分析・診断の必要性・重要性の周知を行うよう支援する。				
都道府県平均達成率	-26.7%	総合所見	ブランド野菜の割合増加のための生産者への周知・理解促進や、良品生産のほか、下位等級品などの販路開拓に向けて指導を行う。																										